

CO₂を利用した化学品製造の技術体系・世界動向と 触媒技術の最前線

<https://www.rdsc.co.jp/seminar/250243>

◆日時: 2025年05月13日(火) 10:30~16:30

◆会場: WEBセミナー(オンライン開催)

◆聴講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき49,500円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で55,000円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 大阪大学 大学院工学研究科応用化学専攻 教授 博士(工学) 古川 森也 氏

【習得知識】

- ・化学業界におけるCO₂利用の現状
- ・CO₂を利用した化成品合成の最前線
- ・CO₂変換に有効な触媒技術に関する知識
- ・合金材料を利用した触媒の設計指針

【講座の趣旨】

CO₂を活用した化学品製造に関して、化学業界の現状と技術体系について解説するとともに、それを可能とする触媒技術の最前線について詳しく紹介する。特に、基幹化学品である低級アルケン製造にCO₂を利用する最新の取り組みに関し、世界最高性能を示す革新触媒技術の詳細を解説する。

具体的には、初めに化学業界におけるCO₂利用・排出削減の現状について、CO₂排出削減に対する考え方・取り組みやCO₂を活用した化学品製造の分類について概説し、続いてCO₂を炭素源とする化学品製造として代表的なカーボネート製造、メタネーション、合成ガスによる燃料製造、メタノール合成を経る化成品合成について説明する。またCO₂を添加剤として利用する化学品製造としてメタンドライリフォーミングやアルカン酸化脱水素についても説明する。

最後に、プロパン酸化脱水素の系を例に、具体的な触媒の設計指針や多元素化による性能向上などについてその詳細を解説する。

【プログラム】

1. 化学業界におけるCO₂利用・排出削減の現状
 - 1-1 CO₂排出削減に対する考え方・取り組み
 - 1-2 CO₂を活用した化学品製造の分類
2. CO₂を炭素源とする化学品製造
 - 2-1 カーボネート製造
 - 2-2 メタネーション
 - 2-3 合成ガスと燃料製造
 - 2-4 メタノールを経由した化成品合成
3. CO₂を添加剤として利用する化学品製造
 - 3-1 メタンドライリフォーミング
 - 3-2 低級アルカンの酸化脱水素
4. CO₂を利用したプロパン酸化脱水素に有効な触媒開発
 - 4-1 多元素合金を利用した触媒設計指針
 - 4-2 3元系合金を用いた高性能触媒の開発
 - 4-3 6元系合金への展開による更なる高性能化
5. まとめ

『CO₂利用【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>